

小学生が地域の農業を学び 食について考える「食農教育」を実施！

農業を身近に感じ、食の大切さを学んでもらおうとJAなすの青年部塩那支部は、12年前から地域の子供たちを対象に食育体験交流会を行っています。児童をメンバーのほ場や牧場に招待し、農業体験を通じて五感で農業に親しんでもらっています。今年は、アスパラガスのほ場で収穫体験を実施します。アスパラガス栽培を通じて青年部や農業に関心をもってもらうことが目的です。

題材について

アスパラガス栽培を通じた体験、青年部員との農業交流

- 栽培説明（午前10時40分～午前11時00分）
- 収穫体験（午前11時00分～午前11時45分）



↑収穫体験の様子

実施概要

日時:5月12日(木)10:40～11:45

場所:那須塩原市臺沼62-2 郡司 勝典 宅(アスパラガス圃場)

参加者:関谷小学校3年生22人、教諭1人、JA職員1人、青年部員5人

JAなすのは、大田原市・那須町・那須塩原市を管内とする農業協同組合です。農業や地域にとってなくてはならないJAを目指し、創造的自己改革に取り組んでいます。

この件に関するお問い合わせ先

JAなすの 塩那営農経済センター 担当:市村 TEL:0287-36-3818

総合企画部 総務課 広報担当:鈴木・鈴木

TEL:0287-62-5555 email:noriko-suzuki@janasuno.or.jp